

灯台

テレビの朝ドラが人気らしい。昔は「おしん」など大ヒット作があったが、その後は人気低迷の時期があったと聞く。だが近年はかなり盛り返しているようで、放送中の「あさが来た」も高視聴率を続けているとのこと。

明治の初めにこれだけの活躍をした女性実業家がいたことは恥ずかしなからあまり知らなかった。

来たがひな



草野 義輔

衆と呼ばれた掛屋があったものの、明治以降金融業者として生き残ったところは一つもない。

草野家も八軒衆の一つであったが、本業は精ろう業で江戸期にはそれなりに繁盛していた。しかし明治になると電気時代になり、ろうそくは次第に先細りとなる。当主はそれならばと、

日田水電という会社や日田銀行を興してはみたが結局は大資本に吸収されうまういかなかった。

幕末から明治への移行は革命にも匹敵する大変革で、かなりの経営者でもうまく乗り切ることはできなかった。日田では天領Ⅱ江戸幕府直轄地という力を背景に「日田金」を扱う「掛屋」と呼ばれる郡代直轄の金融業が盛んであった。全盛期には八軒

人公たちの経営ぶりは誠に見事というほかはない。一方、日田は大分県に編入後、天領時代の元気はなく、残念ながら「あさが来た」は来なかったようだ。しかし時は3月、豆田町ではひな祭りの真っ最中。「ひなが来た！」

(昭和学園高校理事長・日田市)